



自然写真家 大竹英洋氏 講演会

北米ノースウッズに オオカミを探して

北米大陸の北部に広がる、森と湖の世界「ノースウッズ」。

広大な原生林と無数の湖が織りなすこの地には、今も多くの野生動物が息づいています。

日本ではすでに絶滅してしまった野生のオオカミをこの目で見たい——。

その思いから、1999年より25年以上にわたり、この地を旅してきました。

厳しい寒さの中、微妙なバランスの上に成り立つ北国の自然。

その中でたくましく生きる野生動物たち。

そして、何千年ものあいだ自然とともに暮らしてきた、先住民アニシナベの人々。

さまざまな出会いを通して学んだのは、

「あらゆる生命は、この大地に生かされている」ということでした。



【プロフィール】大竹英洋（おおたけひろ）

1975年生まれ、写真家。一橋大学社会学部卒業。1999年から、北米大陸の湖水地方「ノースウッズ」をフィールドに、野生動物や人々の暮らしを撮影。人間と自然とのつながりを問う作品を制作している。主な写真絵本に『ノースウッズの森で』、『春をさがして カヌーの旅』、『もりのどうぶつ』（以上すべて福音館書店）がある。『そして、ぼくは旅に出た。はじまりの森 ノースウッズ』（あすなろ書房）で「第7回梅棹忠夫・山と探検文学賞」、『ノースウッズ 生命を与える大地』（クレヴィス）で「第40回土門拳賞」、『もりはみている』（福音館書店）で「第66回児童福祉文化賞」を受賞。



日時／2026年11月29日(日)午後1時30分～3時30分

会場／生涯学習センター2階視聴覚室 定員／60名 対象／自然や野生動物に興味のある方

申込／10月24日(土)午前9時から受付開始（図書館カウンター又はお電話にて受付いたします。）

※定員に達し次第、お申し込みを終了とさせていただきます。

10月27日(火)～12月27日(日)開催の企画展「本で旅する」の中でも大竹英洋さんの写真を展示致します。

日高市立図書館 TEL042-985-5121